

TRES

トレス

沖仁×大萩康司×小沼ようすけ

クラシック・ギター界の第一線で活躍する大萩康司さん、
フラメンコ・ギター界の第一人者・沖仁さん、
ジャズ・ギターの名手・小沼ようすけさん。

トップランナー3人による、ギタートリオ「TRES(トレス)」が、
この冬、ついに宮崎にやってきます!

今年デビュー25周年を迎えた、

宮崎が誇るギタリスト・大萩康司さんに、
「TRES」の魅力をたっぷりと語っていただきました。



左から:小沼ようすけ(ジャズ・ギター)、大萩康司(クラシック・ギター)、沖仁(フラメンコ・ギター)
©Yukitaka Amemiya

Q. 宮崎でのTRES公演が決まったとき、
どんなお気持ちでしたか？

東京・銀座のヤマハホールでのコンサートが発祥のこの「TRES」を、やっと地元の皆さんに聴いていただけること、しかも今年は自分にとってCDデビューしてから25周年にあたる年なので、そういう節目の時にそれぞれバックボーンの違うジャンルの尊敬する音楽家とともに、自分の生まれ故郷で演奏させていただけることが、とにかく嬉しく感じています。

Q. 沖仁さん、小沼ようすけさんを、それぞれどんなギタリストだと感じいらっしゃいますか？

沖さんも小沼さんも私の4つ上の先輩なのですが、おふたりちょうど私の実兄と同い年で、勝手に兄と弟のような存在として感じております。ものすごく端的に申しますと、沖さんのかっこいいフラメンコでの表現は、情熱的で瞬間最大風速80メートル位のアグレッシブな部分があるので、例えばスポーツ万能な兄に憧れるような気持ち、そして小沼さんのその引き出しの多い表現は、たくさんの自分の知らな

宮崎が誇るギタリスト

大萩康司



小林市出身。高校卒業後、渡仏。パリのエコール・ノルマル音楽院、パリ国立高等音楽院で学ぶ。その後キジアーナ音楽院で学び、4年連続最優秀ディプロマを取得。ハバナ国際ギター・コンクール第2位及び審査員特別賞受賞。NHK「トップランナー」「らららトクラシック」、MBS「情熱大陸」、テレビ朝日「題名のない音楽会」等出演多数。

©SHIMON SEKIYA

いおもちゃを持っていて、次はどんなものを見せてくれるんだろうというワクワク感を持っています。

Q. TRESのリハーサルや舞台裏での
楽しいエピソードがあれば教えてください。

我々TRESのリハーサルは、時々合宿もするのですが、アルコールを一切入れずに楽しすぎてとにかくギターを弾きまくっている、というのが面白いです。それ自分に持っていないものを持っていることへの発見が新鮮で何物にも代え難いほど楽しいです。それ20数年も違うジャンルの前線で活躍してきたにもかかわらず、いざ3人で弾いたときに、そのジャンルという境界線がふとなくなる瞬間が「TRES」だなあと感じます。

Q. 最後に、故郷・宮崎の皆さん、
そしてお客様へ、メッセージをお願いします。

私たちTRESのコンサートでは、フラメンコ、ジャズ、クラシックそれぞれの美味しいところが聴ける、料理でいうとまるでアラカルトのようなライブとなっております。メティキット県民文化センターの最高の音空間とともに、年末のメインディッシュをぜひ味わっていただければ幸いです！

公演情報

12/21(日)

TRES
— 沖仁×大萩康司×小沼ようすけ

13:30開場／14:00開演

会場：演劇ホール

出演：TRES 沖仁 (フラメンコ・ギター)

大萩康司 (クラシック・ギター)

小沼ようすけ (ジャズ・ギター)

曲目：当日発表予定